

第3回 棟方志功記念館建物利活用意見聴取会議 議事要旨

○日時 令和8年1月19日（月）15時00分～16時00分

○場所 青森市男女共同参画プラザ カダール 研修室

○出席委員（5名） 一般財団法人棟方志功記念館 顕彰推進アドバイザー 池田委員
松原町会 会長 石田委員
学校法人青森山田学園青森大学 副学長 佐々木委員（座長）
一般財団法人棟方志功記念館 理事長 杉本委員
青森商工会議所 常議員
／情報・教育文化部会ワーキンググループ 座長 成田（耕）委員

○案件

（1）棟方志功記念館建物利活用方針（案）について

1 事務局説明

- ・案件（1）について資料に基づき事務局より説明（資料1、2）

2 委員からの意見

（池田委員）

- ・概ね意見は反映されていると思う。
- ・設計段階から、美術館や現場の声を聴いて検討を進めていただきたい。
- ・備品や電子機器の類は、準備していた時に考えていたものが開館時には古くなっていることもあるので、そういうことも踏まえて作業を進めていただきたい。
- ・アスベスト除去工事の後に、建物から化学物質が無くなるよう枯らしの時間が必要なので、それを踏まえたスケジュールとしていただきたい。
- ・棟方志功の顕彰の拠点、交流の拠点、発信の拠点として活用し、市民と青森市が誇りと責任を持って運営していくような施設にしていただきたい。

（杉本委員）

- ・志功の本物の作品の展示や作品入替を考慮すると、美術や志功の専門的な知識をもつスタッフが必要となる。
- ・あまり志功のことをわかっていない学校の先生方も多いと思うので、子どもと一緒に学ぶという姿勢が大事だと思う。
- ・子どもたちが志功の作品を見て感じたことを話し合う対話型鑑賞や、ゲーム性のあるものやデジタルコンテンツを活用し、遊びながら志功のことを知る体験型鑑賞もやってほしい。一緒に遊びながら学ぶことで、自分と違った多様な意見に触れ成長してもらいたい。
- ・棟方志功記念館は閉館したが、建物の利活用について市に検討してもらい感謝している。
- ・おかげさき世界子ども美術博物館のように、平日・土日に関わらず子どもたちと親が家族一緒に楽しめる記念館になってほしいし、そうなると松原町会も違った雰囲気になると思う。

(成田（耕）委員)

・南砺市の福光では、志功のお孫さんの石井 順子（いしい よりこ）さんがキーパーソンとなっている。例えば、沢瀉忌（おもだかき）がある9月の一週間に青森に来ていただき、学芸員を育てていただくことはできれば、学芸員が育っていくのではないか。

⇒ (杉本委員) 石井 順子さんには、一般財団法人棟方志功記念館の顕彰推進アドバイザーに就任していただいているので、年3、4回は青森に来られると思う。

・オープンカフェについては、人出がある土日にキッチンカーに来てもらう方法もある。
・1年を通しての施設運営を検討しているとのことだが、張り切りすぎて100点を狙った運営は長続きしない。休めるときは休んで、そのパワーを春にぶつけるという運営があっても良い。

(石田委員)

・地域としては、先生と子どもたち、また保護者も一緒に学べるような体制を作ってほしい。

(佐々木座長)

・利活用方針案について了承することとしたい。